

生徒指導・進路指導論

科目ナンバリング ESS-104
教職 選択 2単位

杉坂 郁子

1. 授業の概要(ねらい)

座席指定で、グループディスカッション・発表中心の授業を行う。座席・グループは数回ごとに変わる。
生徒指導と進路指導は、ともに人格のより良い発達を支援するという目的を持ち、密接な関係にある。子どもたちを取り巻く社会状況が急激に変化する中、多様化、複雑化するこれらの指導について、知識や理論をふまえた上で、事例を取り上げながら、実践に役立つ考え方を学ぶ。

2. 授業の到達目標

- ・生徒指導は単なる問題行動への対応のみを指すものでない。また、進路指導は本来、単なる進学や就職のための出口指導ではない。生徒指導、進路指導の意義を正しく理解するとともに、学校現場で実践するための基礎的な力をつける。
- ・グループ活動を通して、教員として必要な「考えをまとめる力」「説明する力」「発表する力」を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

毎回の振り返りシートの内容、発表の回数や内容、グループ活動への貢献度、授業への取組状況(遅刻・欠席の減点を含む)(75%)学期終わりのレポート(25%)

4. 教科書・参考文献

教科書

特定の教科書は使用しない。授業の際、資料を毎回、配布する。

参考文献

生徒指導提要 文部科学省

5. 準備学修の内容

- ・授業の最後に次回の内容の予告をするので、その内容について、レポート等にまとめること。(授業では、まとめてきたものをグループ内で共有し、考察、発表を行う)

6. その他履修上の注意事項

・1回目から必ず出席すること。1回目の授業で、授業方針の提示、座席決め・グループ決めを行うので、忌引き、感染症などの特段の事情があり出席できない場合は、必ず事前(2回目の授業の直前は不可。前日まで)に杉坂の研究室(10号館9階912)に来ること。履修変更であっても、2回目以降の突然の受講は出来ない。(システム上、履修できても不可)

・換気、マスク着用、マイク消毒の上、グループディスカッションや発表が中心となる。座って聴いているだけの一方向の授業を望む学生や初対面の人とのコミュニケーションを嫌う学生には適さない。

・受講生全体の学習効果を上げるため、学習環境、授業規律を重んじる。遅刻は出来ない。自己管理、体調管理をしっかり行い、コロナ等の感染症以外の欠席は極力しないこと。

・特段の理由があり欠席した場合は、当日の授業資料等を、次回の授業までに研究室に取りに来ること。(授業で前回の授業の資料は配布しない)

7. 授業内容

- 【第1回】
- ・座席・グループ決め(こちらで指定)
 - ・受講上の心構え、注意
 - ・「生徒指導」に関する原体験の振り返り

- 【第2回】
- 生徒指導とは何か①
 - ・生徒指導提要、生徒指導リーフより考える

- 【第3回】
- 生徒指導とは何か②
 - ・新聞記事より考える

- 【第4回】
- 暴力行為について考える
 - ・統計「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」からどう読み取るか
 - ・校種別の特徴
 - ・暴力行為の背景

- 【第5回】
- 不登校について考える①
 - ・統計「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」からどう読み取るか
 - ・不登校の事例から考える

- 【第6回】
- 不登校について考える②
 - ・資料「不登校になった原因」からどう読み取るか
 - ・学級集団の特徴
 - ・児童生徒の居場所づくりについて

- 【第7回】
- いじめについて考える①
 - ・いじめの定義とその変遷
 - ・統計「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」からどう読み取るか

- 【第8回】 いじめについて考える②
・いじめのメカニズムとその対応(事例から分析する)
- 【第9回】 いじめについて考える③
・いじめのサイン
・教員の指導といじめの関係性について
- 【第10回】 進路指導とは何か①
・進路指導の原体験の振り返り
・進路指導とキャリア教育
・キャリア教育が求められる背景
- 【第11回】 進路指導とは何か②
・勤労観・職業観を育むには
・事例から考える(誤った進路指導)
- 【第12回】 校則について考える
・資料、新聞記事等から考える
・規律を守らない生徒の背景
・教育と法の狭間から
- 【第13回】 性的マイノリティに係る児童生徒への指導について
・性的マイノリティとは
・資料「学校における性同一障害に係る対応に関する状況調査」より
・学校としての留意点や配慮について
- 【第14回】 生徒指導・進路指導論のまとめ
・教員になったら、どのような 生徒指導・進路指導をしたいか
- 【第15回】 オンライン
LMSに掲載する資料を読んで、自分の考えをまとめる。